

R1

R2
(第2次計画 4~7年目)

R3

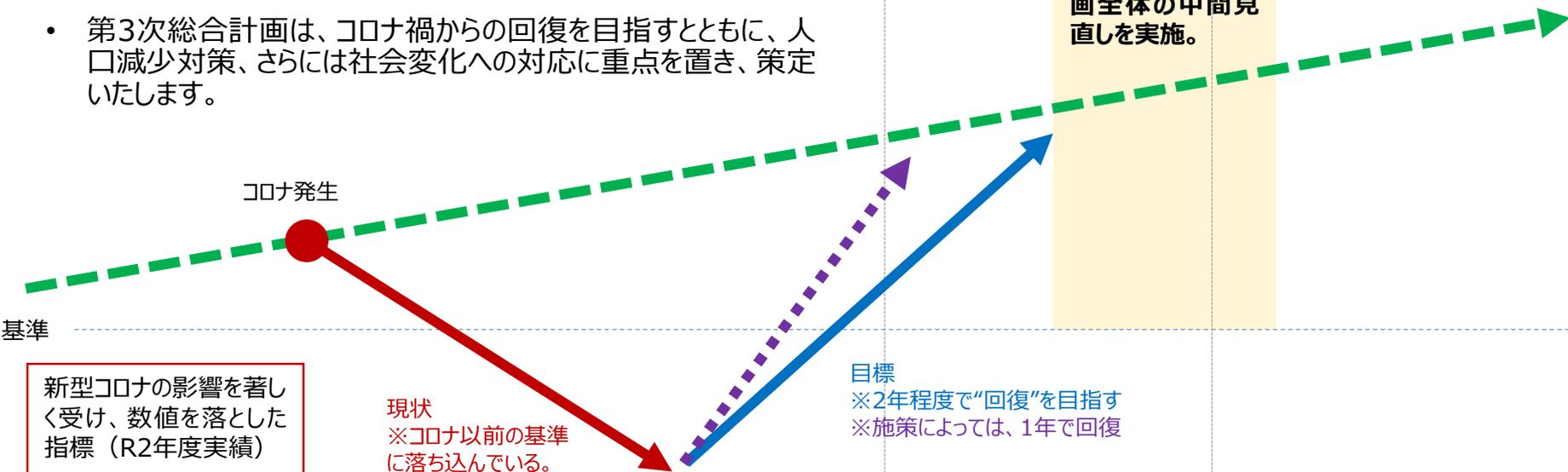
R4

R5~8
(第3次計画 1~4年目)

R9~12
(第3次計画 5~8年目)

- 新型コロナ感染症の影響により、概ね順調に推移してきた第2次燕市総合計画の個別指標にも26項目で悪影響が出ました。計画最終年度を迎える令和4年度は、最終目標値の達成、もしくは少しでも改善が図られるよう努めます。
- 第3次総合計画は、コロナ禍からの回復を目指すとともに、人口減少対策、さらには社会変化への対応に重点を置き、策定いたします。

コロナの状況や社会環境の変化などを鑑み、必要に応じて**成果指標や計画全体**の中間見直しを実施。



新型コロナの影響を著しく受け、数値を落とした指標（R2年度実績）

26 / **86**

（人流・交流中心）

現状
※コロナ以前の基準に落ち込んでいる。

目標
※2年程度で“回復”を目指す
※施策によっては、1年で回復

コロナ禍を契機に急速に変化したことへの対応

- ・DX推進
- ・デジタル化



社会環境への変化に伴う課題への対応

- ・脱炭素社会
- ・ダイバーシティ
- ・少子高齢化
- ・分散型社会
- ・災害の激甚化

第3次総合計画の政策体系（案）

基本戦略「進化版 人口戦略」

- I 『時代に即して「賢く」「住みよく」』 定住人口戦略
- II 『好循環を生み出す』 活動人口戦略
- III 『ツバメらしく育む』 交流・応援(燕)人口戦略

+ 6つのシフト

- ①DX ②脱炭素 ③ダイバーシティ ④少子高齢化
- ⑤分散型社会 ⑥災害激甚化対応

+ SDGsの17のゴールも位置付け